

特許庁三年会（囲碁）について

特許庁三年会幹事 前原 義明



地下1階和室での例会（練習会）の風景

① 三年会とは

今回のリフレッシュタイムでは、特許庁の囲碁サークルである三年会についてご紹介します。三年会という名前は、旧庁舎の近くの「三年坂」という地名から来ています。設立の経緯についてはよく知らないのですが、聞いた話によると、100年以上もの歴史があるそうです。囲碁人口減少のあおりを受けて、一時はかなり部員が減っていましたが、今の若手が、漫画「ヒカルの碁」の影響を受けた世代ということもあり、現在では、若手を中心として部員数が増えてきています。

② 普段の活動

三年会の主な活動は、月に1回の例会（練習会）、プロ棋士による指導碁、年に2回の科学技術囲碁大会への参加です。

例会は、地下1階の和室で第2週水曜日の18時30分から行われ、毎回、大体10名程度が参加します。参加者のレベルは、級位者から高段者までと幅広い構成になっています。

また、約月1で行われるプロ棋士の指導碁では、指導に非常に定評のあるプロ棋士からの指導を受けることができ、棋力アップの機会には事欠きません。

科学技術囲碁大会とは、毎年の春と秋に複数の科学技術関係機関で行われる、7名1チームの団体戦の大会です。出場者の中には、元アマチュア名人の方や県代表クラスの方々がたくさんおり、非常にレベルの高い大会です。過去、参加チームが少なかった頃には優勝したこともあるみたいですが、ここ数年は、上位チームの中だと勝ち星をあげるのも大変といった状況です。

以上が三年会の主な活動ですが、他の活動も盛りだくさんです。東日本大震災があった2011年には、チャリティー囲碁大会が企画されました。また、過去には、韓国・中国の特許庁との対抗戦が行われたことがあるのも、全世界に愛好者がいる囲碁のサークルならではのところです。

③ 他のアマチュア棋戦への参加

最近では有望な若手が何名も入ってきたということもあり、科学技術囲碁大会以外の大会へも、若手を中心として



市ヶ谷の日本棋院で行われた科学技術囲碁大会



八重洲のいずみ囲碁センターで行われた全日本社会人囲碁団体戦

積極的に参加しています。

特に、今年は、全日本社会人囲碁団体戦とジャンボ囲碁大会という2つの大会に参加しました。

全日本社会人囲碁団体戦は、八重洲のいずみ囲碁センターという碁会所が主催している3名1チームの団体戦ですが、参加者のレベルが高く、思ったような成績は残せませんでした。

ジャンボ囲碁大会は、11名1チームの非常に規模の大きな団体戦なのですが、入賞あと一歩というところで敗れ去り、非常に悔しい思いをしました。

④ 囲碁のすすめ

囲碁は、別名で「手談」と呼ばれているとおり、対局相手との対話のゲームです。出願人との対話によって、よりよい権利を生み出していく審査官にぴったりのゲームではないでしょうか。また、囲碁によって養われる大局観は、



市ヶ谷の日本棋院で行われたジャンボ囲碁大会

行政官としての側面を持つ我々を、さらなる高みに導いてくれることでしょう。

三年会では、随時、会員を募集しています！ もちろん、初心者大歓迎！

この記事を読んで興味を持たれた方は、以下の連絡先にご連絡をお願いします。

前原 義明 maehara-yoshiaki@jpo.go.jp